メタステレオタイプの正確さ

ー県民性ステレオタイプを用いた研究ー

○佐久間 勲

(文教大学情報学部)

キーワード：ステレオタイプ、メタステレオタイプ、県民性ステレオタイプ

Meta-stereotype accuracy: An examination using prefecture stereotypes

Isao SAKUMA

(Faculty of information and communication, Bunkyo Univ.)

Key Words: stereotype, meta-stereotype, prefecture stereotypes

目 的

ステレオタイプとは集団に対して持つ画一的なイメージのことである。一方、メタステレオタイプとは外集団から持たれていると推測する内集団に対するイメージのことである。本研究では、同じターゲット集団に対するステレオタイプとメタステレオタイプを比較することを通して、あるターゲット集団に対するメタステレオタイプがどの程度正確であるかを検討する。

メタステレオタイプの正確さに関して、金と大江(2008)は日本人と韓国人を対象に研究を実施している。その結果、メタステレオタイプはステレオタイプよりも否定的な方向に歪んでいることを見出している。本研究ではメタステレオタイプの正確さを検討するために、東京都民ステレオタイプと茨城県民ステレオタイプを取り上げる。佐久間(2014)は、Fiske et al.(2002)が提唱したステレオタイプ内容モデルを参考に、関東一都八県の在住者に対して都県民イメージを調査した。そして、東京都民に対しては「知的能力は高いが冷たい」、茨城県民に対しては「あたたかさが知的能力は低い」というステレオタイプが存在することを示唆する結果を得ている。本研究ではこれらの2つの次元に華やかさに関する次元を加えて、メタステレオタイプの正確さについて検討する。

方 法

調査対象者 (株)マクロミルのモニター312名を対象に調査を実施した。対象者の内訳は、居住地(東京都/茨城県)×性別(男性/女性)×年代(20代/30代/40代以上)の12区分に対して、それぞれ26名ずつであった。なお本調査の前にスクリーニング調査を行い、日本国籍を有しつつ東京都または茨城県に10年以上継続して在住しているものを調査対象者とした。
調査実施時期 2015年2月5日から7日の期間に実施した。
分析に用いた質問項目 (1)東京都民・茨城県民ステレオタイプ：すべての調査対象者に東京都民および茨城県民に対するイメージを8組の形容詞対(7件法)で回答してもらった。8組の形容詞対のうち「親しみやすい-親しみにくい」「冷たい-暖かい」「好き-嫌い」はあたたかさ、「頭がよい-頭が悪い」「有能でない-有能である」「知的な-知的でない」は知的能力、「洗練された-素朴な」「地味な-派手な」は華やかさに関する次元のものであった。都県民イメージの回答順序はランダムであった。(2)東京都民・茨城県民メタステレオタイプ：すべての調査対象者に東京都民および茨城県民が他方の

都県民に対して持っていると推測されるイメージを8組の形容詞対(7件法)で回答してもらった。具体的には、本調査に参加している東京都民が茨城県民(茨城県民が東京都民)に対して持っていると推測されるイメージを回答してもらった。用いた形容詞対は(1)と同じものであった。回答順序はランダムであった。

結 果

3次元ごとに形容詞対の回答の平均値をそれぞれのターゲット集団に対するステレオタイプ得点またはメタステレオタイプ得点とした。ただしステレオタイプ得点についてはターゲット集団に対して外集団である都県民の回答だけ、メタステレオタイプ得点についてはターゲット集団に対して内集団である都県民の回答だけを使用して算出した。ターゲット集団ごとのステレオタイプ得点とメタステレオタイプ得点の平均値は表の通りであった。同一のターゲット集団に対するステレオタイプとメタステレオタイプの間にはずれがあるかを検討するために、2つの得点の平均値についてt検定を実施した。あたたかさに関しては、いずれのターゲット集団でも差が有意であった($t_s > 3.92, p_s < .001$)。メタステレオタイプはステレオタイプよりも冷たいというものであった。知的能力に関しては、ターゲット集団が茨城県民の場合のみ有意であった($t = 5.85, p < .001$)。メタステレオタイプはステレオタイプよりも知的能力が低いというものであった。華やかさに関しては、いずれのターゲット集団でも差が有意または有意傾向であった($t_s > 1.65, p_s < .10$)。茨城県民に対しては、メタステレオタイプはステレオタイプよりも華やかさに欠けているのに対して、東京都民に対しては、華やかであるというものであった。

考 察

本研究の結果はメタステレオタイプが不正確であることを示唆するものであった。しかしメタステレオタイプがステレオタイプよりもステレオタイプの的であるか、それともステレオタイプとは関係なく単に否定的であるかという点に関しては一貫した結果が得られなかった。今後の研究では、どちらの種類の不正確さが確認できるか、不正確さの種類を分ける条件があるかを検討する必要がある。

引用文献

Fiske, S.T. et al. (2002). *JPSP*, **82**, 878-902. / 金ジュン・大江朋子 (2008). 日心大会第72回大会発表論文集, 266. / 佐久間勲 (2014). 日本GD大会第61回大会発表論文集, 130-131.

表 ターゲット集団に対するステレオタイプ得点とメタステレオタイプ得点の平均値 (標準偏差)

	ターゲット集団：茨城県民			ターゲット集団：東京都民		
	ステレオタイプ得点	メタステレオタイプ得点	t 値	ステレオタイプ得点	メタステレオタイプ得点	t 値
あたたかさ	4.37(0.76)	3.92(0.73)	5.29	3.55(0.83)	3.16(0.94)	3.93
知的能力	3.79(0.71)	3.22(0.99)	5.85	4.44(0.91)	4.49(0.90)	0.48
華やかさ	3.02(0.94)	2.69(1.17)	2.72	4.91(1.08)	5.11(1.07)	1.66

注) 数字の範囲は1~7。数字が大きいほどあたたかい、知的能力が高い、華やかであるというステレオタイプ(メタステレオタイプ)を持つことを意味する。